

重要インフラ分野における情報セキュリティ対策の浸透度合いの評価 ～情報セキュリティ対策向上の取組み～（案）

〈考え方〉 情報セキュリティ対策の浸透度合いをもっとも反映するものとして「行動計画に定める各施策の進捗度合い」を指標に用いて評価を行う。

第一次基本計画

- ・IT障害が国民生活・社会経済活動に重大な影響を及ぼさない
- ・2009年度初めには重要インフラにおけるIT障害の発生を限りなくゼロにすることを目指す

- ・IT障害の発生を可能な限り未然に防止する
- ・IT障害が発生した際の影響を可能な限り極小化する

ために必要な対策が常に適切に講じられている社会

情報セキュリティ対策が浸透した社会

- A.情報セキュリティ対策が十分であるか、事業者等自らが自己検証する
- B.障害の未然防止、拡大防止・迅速な復旧、再発防止に関する情報を官民で共有する
- C.重要インフラ分野間におけるIT障害に関する相互依存関係を踏まえた対応がなされる
- D.情報セキュリティ対策向上に向けた方策や課題への対応に官民連携して取り組む

浸透度合い

行動計画に定める施策

- ①安全基準等の整備
- ②情報共有体制の強化
- ③相互依存性解析の実施
- ④分野横断的な演習の実施

施策の進捗度合い

＜反映＞



※各年度ごとの目標に対する実施状況の把握や、重要インフラ分野において発生したIT障害の分析等を通じ評価。